



The Y's Men's Club of Sendai

仙台ワイズメンズクラブ 2019 年 2 月報

- 国際会長主題 「私たちは変えられる」
- アジア太平洋地域会長主題 「アクション」
- 東日本区理事主題 「為せば、成る」
- 北東部長主題 「チャンス到来 われら北東部から世界へ」
- クラブ会長主題 「ホップ・ステップ・そろそろジャンプ」

会 長 中川典幸
 副会長 佐々木絹子
 書 記 横倉 純
 会 計 田中京子
 メネット会長 吉田一恵
 担当主事 鈴木陽子

仙台クラブ事務所 : 〒980-0822 仙台市青葉区立町 9 番 7 号 仙台YMCA内
 仙台クラブ Facebook: <https://www.facebook.com/sendaiys/>

<今月の聖句>

「イスラエルよ。今、あなたの神、主があなたに求めておられることは何か。ただ、あなたの神、主を畏れてそのすべての道に従って歩み、主を愛し、心を尽くし、魂を尽くしてあなたの神、主に仕え、わたしが今日あなたに命じる主の戒めと掟を守って、あなたが幸いを得ることではないか。」

申命記 第10章12節～13節

2月の例会

日 時：2月19日(火)

19:00 ~ 21:00

会 場：仙台YMCA立町会館

会議室

内 容：チャリティーオークション

食前感謝：岡 リツ

司 会：牛尾 道弘

1月例会報告

在籍者	16名
出席者	10名
メイキャップ	0名
ゲスト・ビジター	5名
メネット・コメント	1名
出席率	62.5%
ニコニコ	10,200円



巻頭言 TOF (断食の時)

岡 久雄

国際ワイズメンズクラブでは、毎年2月を「TOF(time of fast)」強調月間としており、その月の例会では食事を抜き、食事代を世界の飢餓に苦しむ人々支援のために献金している。

現在我が国では、周囲を見渡しても飢餓に苦しむ人々が殆ど居ないので、ワイズメンズクラブの中で TOF と言ってもピンとこない会員も少なくないであろう。

一方、テレビのコマーシャルでは、UNICEF がアフリカの飢える子供たちの映像を大きく映し出し、広く寄付を募っており、私も毎年のように寄付に応じてきたが、その寄付金がどのように使用されているかの情報は一切報告されていない。

かつて植民地支配から解放されたばかりのアジアやアフリカでは、内乱が続き、恐らく私たちが想像できないほど多くの難民が飢餓に苦しんでいたであろう。今確かにアジア・アフリカの

国々は独立し、一部の部族などを除き民生も遥かに改善されているだろう。

しかし戦争の時代と言われた 20 世紀が終わり、共生の時代へと進んだはずの 21 世紀に入っても、新たな戦争の危機が増えている。地上の人類はまさに弱肉強食の本性を抜け切れていない。誠に罪深い事である。しかもそれらの争いは、人種や宗教に絡んでいる事が少なくない。

世界平和を祈り、人類社会が共に生きる事を標榜するキリスト教そしてその教えに従って社会に奉仕しているYMCA、ワイズメンズクラブの働きは、その力が小さくその影響は未だ広く人類社会に及んでいないのではないかと。

TOF月間に際し、私たちは、もっと祈り合い、力を合わせて、共に生きる人類社会の為、一層効果的に奉仕しなければならないと思う。

私は今年6月に満94歳になるが、気力体力の衰えを自覚しながらも、一日一日を大切にしながら感謝の日々を送っている。然し足腰の衰えによって、1500歩以上歩いたり、階段の昇り降りは苦痛であり、最近、仙台クラブの例会などへの出席も出来ていない。

出席第一を標榜するワイズメンズクラブのメンバーとしては落第であり、この巻頭言に投稿し、余計な事を書くことすら憚られた。

然し、プリテン投稿もクラブメンバーの大事な義務であるので、敢えて筆をとった。

今は大寒で、年間で一番寒い季節であるが、仙台クラブの皆さま始め、世界のワイズメンズの皆さまの上に、神様の豊かな導きがありますよう祈っています。

2月の強調月間「TOF」

「TOF」(Time of Fast)「断食の時」とも言います。世界の飢餓に苦しむ人々を支援するため、ある月のクラブ例会の食事を抜きにして、その分の額を献し、国際が集めて、その年度に定めた支援目標に捧げる奉仕活動です。いわゆる途上国で民生向上のため苦闘しているYMCAが世界YMCA同盟を通じて給付を申請する。これをTOFESC(評価・選定委員会)で審議し、国際会議で支援先、給付額を決めています。

1月第1例会報告

日時：2019年1月13日(日)16:30~18:30

会場：DUCCA仙台駅前店

出席者：今澤・小幡・工藤・佐々木・鈴木・田中・田村メネ・中川・永井・横倉・吉田

仙台青葉城クラブ8名・仙台広瀬川クラブ9名・石巻広域クラブ6名

もりおかクラブ2名・ゲスト3名

例会模様：

恒例の4クラブ新年合同例会が仙台クラブの幹事で開催された。種々検討、開催日は一番多数の方が参加しやすいと判断され日曜日の夕方に、会場は仙台駅の周辺にと、情報を収集し「DUCCA仙台駅前店」が選定された。

ゲストには次期東日本区理事でアジア太平洋地域大会実行委員長を担う十勝クラブの山田敏明さん、東日本区地域奉仕事業主

任の大久保知宏さん、石巻広域クラブに入会予定の千葉直美さん、もりおかクラブの三田会長、井上ワイズメンを迎え40名の面々が集いました。

司会は仙台クラブの鈴木担当主事。石巻広域クラブ日野直前会長の開会点鐘にてスタート、今月の聖句、ワイズソング、ワイズの信条と続き、仙台クラブ中川会長挨拶、新年の挨拶と出席者の皆さんに感謝の言葉が述べられた。ゲスト紹介の後、山田次期理事よりアジア太平洋地域大会の成功に向けての挨拶があり、続い



て大久保事業主任、涌澤北東部長、村井仙台YMCA総主事がそれぞれアジア太平洋地域大会について触れられ、特に村井総主事からは、最優先にて大会への支援をするように、との要請がある旨話された。

仙台クラブ佐々木ウイメンの食前感謝を受け、乾杯の発声は仙台青葉城クラブ南澤会長、年頭の挨拶の後「カンパイ！」そして懇親に。座席は丸テーブル、ABCD4つのグループに分かれ着席。懇親も深まったところで、仙台クラブ横倉ワイズにより、テーブル対抗ゲーム合戦、テーブルどうし同じ解答をすると点数が加算となる。問いは「YMCAと言ったら」「仙台YMCAと言ったら」など・・・「岩手と言ったら」にCグループから『大谷翔平』の解、それには特別加点があり見事優勝、豪華？賞品が贈呈されました。

時は待たずに、連絡報告へ、誕生祝い、ニコニコと滞りなく進み、仙台広瀬川クラブ加藤会長の「良い年になりますように」との閉会挨拶にてお開きとなりました。

尚、例会開会前に4クラブ会長＆直前会長の会が持たれ、東日本大震災支援金の残高確認や4クラブ連絡会議の担当持ち回り順などが確認され、また、次年度より合同例会は年1回の開催にすることで意識合わせがなされた。

ニコニコ10, 200円。(4クラブ均等割り)



笑顔の布風船作り

吉田 一恵

私の高校時代からの友人の桜井ひろ子さんは幾度かトレッキングでネパールを訪れ、現地の子供達の生き生きとした輝く瞳と生活に魅了され、その時保母だった彼女は25年余りの保育園生活にピリオドを打ち、シルバーボランティアとしてスリランカの重度障害児(者)施設に赴き、通算2年3カ月のボランティアを経て、1998年保育の原点を求めて待望のネパール・サチコール村へ赴きました。これまで彼女は“ネパールの子供達に夢を”と支援を呼びかけ、絵本の文庫を幾つか開設しました。時にはネパールで7か月生活していた時期もあったようです。彼女が支援活動を始めて4～5年たった頃に仙台クラブの第一例会でネパールでの支援活動についてお話して頂いたことがあります。私もそれなりの支援活動を続けている中で、私の好きな裁縫で何か支援活動に結び付かないか模索していました。彼女は通称「OKバジ(垣見一雅)」（ネパール語でバジとはおじいさんのこと）と呼ばれている日本人と情報



を交換しながら支援活動を続けています。私はその彼に2017年にお会いする機会があり、布風船をお見せした時に『この風船ネパールの子供達は喜ぶね。』と言われた事を思いだし、ひろ子さんに布風船の活用方法を伺いました。

「OKバジ25周年記念式典」が2019年3月14日に開催の予定なので、例えばその時に子供達に日本からの支援の布風船を渡すとか、使用方法は色々あると言うお話だったので、そこで、

多用な事情を抱えて、常にメネットが集まったのクラブメネット会での支援活動が難しい現状を踏まえている仙台クラブ、仙台クラブメネット会の支援活動として布風船(布を裁断する人、縫う人に分担し自宅で作業をして頂く)を作りネパールの子供達へ贈ることを仙台クラブの第2例会で提案し、賛同を得たので継続することになりました。今年は記念式典があるので100個の布風船を準備しました。今回は出来た布風船の包装作業を1月30日佐々木絹子ウイメン宅で何時もお手伝い



に駆けつけてくれる小野久子さんを交えて、今澤智代ウイメン、私の4人で滞りなく終えました。現在登米市で生活しているひろ子さんが4月4日までの滞在予定で、2月14日にネパールに出発とのことで2月1日に布風船を届けてきました。『帰国した後、ネパールでの状況等を報告に伺います。本当に有難うございます。皆さんで読んでください』とひろ子さんが作文した「OKバジ」ネパール・パルパの村人になった日本人と題した本をクラブに頂いてきました。

私の好きな sewing

吉田 一恵

私は4人きょうだい（妹・弟）の長女です。子供の頃、母のお手製の洋服をよく着ていました。今思うにその影響も多々あったのかな！！針仕事が好きになり、中学の頃は自分で編んだセータを着ていました。社会人になって夜間の洋裁学校に通い、卒業までにはスーツ、オーバーも縫いました。フルタイムの仕事に就き、子育てで好きなことする事もままならず冬眠していましたが孫が生まれたのを機会に再稼働しました。5人の孫の誕生日に毎年プレゼントの品（着る物）作り、孫達もズボンの膝、ベスト等擦り切れるまで着用してくれましたので作り甲斐がありました。入園、入学時には手作りのレッスンバック、体育着入れ等も作りました。妹達にはベストをプレゼント、小さい物では名刺入れ、ポケットティッシュ入れ等数えきれません。また、依頼されて着物のリメイクも手がけました。私自身好きなこととして喜んで頂けるこんなに嬉しいことはありません。勿論、自分の着る物もリメイクしたりしています。こんな訳で常にミシン等用具は常に使える状態にあり、時には来客前にいそいそと片付ける日々です。



2月第2例会報告

日 時：2019年2月5日（火） 19：00～20：30

会 場：仙台YMCA 会議室

出席者：佐々木・鈴木・田中・田村メネ・中川・横倉・吉田

- ① 例会ではクリスマス例会時に出来なかった「オークション」を行うが、献品のために品物を購入するなどせず、無しの場合は気持ちの献金をして頂くこととする。尚、TOF月により夕食は軽食を準備する。
- ② 仙台YMCA全体研修会：2/11（祝）9:30～東京エレクトロンホール（午前）&仙台YMCA立町会館（午後）にて、東日本大震災追悼礼拝：3/10（日）14:45～仙台YMCA立町会館にて、ボランティア感謝会：3/10（日）16:30～ホテルJALシティ仙台にて、を確認する。尚、細部については別途周知する。
- ③ 整理済の使用済み切手を2/15までに送ります。自宅で整理済のものがあれば2/12までに鈴木担当主事のところへ届けて下さい。
- ④ お年玉賀当選切手シート、下2桁 02・42・78になります。ご協力頂けます方は、クラブ内の郵送時に活用しますので、例会時にご持参ください。
- ⑤ 国際地域協力募金の進捗状況を確認する。
- ⑥ 次期クラブ会長及び部役員研修会：3/9（土）・10（日）代々木にて開催、を確認する。
- ⑦ アジア太平洋地域大会時に東日本大震災被災地を巡る4つのコースが設けられます。仙台3クラブと石巻クラブがそれぞれ1コースずつ添乗を担当する、との説明があり確認された。尚、参加の申し込み登録が始まりました。詳しくは例会等で周知することとします。
3月例会ではアジア太平洋地域大会の支援の一環として、折り鶴作業を行うことで意識合わせを行った。